



## 介護保険 10年 燃える薩摩から熱い力を！

～ケアマネジャーとして応えていく～ 多様化する時代のニーズに～

第5回 日本介護支援専門員協会全国大会 in 鹿児島  
第2回 九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会 鹿児島大会

黒 畠会県幹事

大会実行委員長 八木 幸夫

(NPO法人鹿児島県介護支援専門員協議会理事)

全国の介護支援専門員の皆さん、煙はく桜島を有する鹿児島へ「ゆくさおじやったもした」(足を運んで頂きました)。第5回の全国大会と第2回の九州・沖縄ブロック研究大会が同時に、介護保険施行10年目という節目に開催されますが、医療と介護の連携が一層推進される中で、平成24年度4月の介護保険法の改正と施行、そして介護報酬と診療報酬の同時改定も予定され、非常に重要な時期であります。

このような状況を踏まえ、改正介護保険法の全貌を皆さんと研究して、より良いケアマネジメントに活かしていきたいと考えております。大会1日目は、厚生労働省から改正介護保険の概要についての基調報告を、またテレビ朝日コメンテーターの三反園氏より政治・経済と社会保障制度についての基調講演をして頂くことになりました。その後「介護保険 10年 燃える薩摩から熱い力を！」と銘打って、5つの分科会とミニシンポジウムを企画させて頂きました。2日目は、分科会の報告後に日本介護支援専門員協会の各職域部会からの発表と厚生労働省から改正介護保険と介護支援専門員の関連についての講演を予定しております。時期と要を得た素晴らしい大会になると確信しております。

少子高齢化に突入していく中、高齢者を取り巻く環境には厳しいものがあり、また高騰する介護保険料の問題や高まる介護サービスの給付拡大など、介護保険財政の観点からも介護保険制度の存続をかけてこれからも協議がなされるものと思います。一方では、「2025年の地域包括ケア構想」が打ち出され、長期的なビジョンにも目を向けて私たち介護支援専門員は、専門職としての資質向上を図り多様化する高齢者のニーズに応えていかなければなりません。この鹿児島大会が、全介護支援専門員の熱い力を支える大会となることを切に願っております。

最後に今大会開催に当たり、多くの方々に御支援・ご協力を頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ステップとして日本全国の介護支援専門員が熱くまちあわせ意気でつながる会期、私達も進化し、この大局面を乗り切りましょう。

最後になりましたが、今大会の開催を担当し、ご尽力をいただいた幹事として活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会並びに九州・沖縄ブロック各県の介護支援専門員協議会に深謝申しあげます。感謝を申し上げます。